

No. 8-2

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 08 - 2

事業分類		<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> 必需		公的関与 1		作成日		26年 6月 日			
事務事業名		各種がん検診事業				シート作成部署					
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち				課名	健康保険課		係名	健康づくり係	
		2-1 健康に暮らすまちをつくる					シート作成者				
	施策	2-1-1 自らの健康づくりの推進				予算費目	会計		一般		
							款		4		
主要施策	② 各種健診の充実				項		1				
					目		2				
個別計画名		東員町健康づくり計画									
住民との関わり											
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）							
	20歳以上の女性 40歳以上の男女			各種がん検診の受診を勧奨し、疾病の早期発見・早期治療を目指し、住民の健康を支援する。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）										
対象年齢のいる全世帯に検診申込書を配布し、受診希望者を募り検診希望者には受診票を送付する。検診結果により要精密検査の方には専門機関の受診を促し、要指導の方には生活習慣病予防教室や個別指導を実施する。											
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし							
根拠法令・要綱等		健康増進法									
		平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B		28,434			29,057			29,287			
財源内訳	国庫支出金		2,790			1,672			1,072		
	県支出金		1,717			1,137			1,818		
	地方債		0			0			0		
	その他特定財源		0			0			0		
	一般財源		18,119			20,440			22,683		
直接事業費（千円）A		22,626			23,249			25,573			
人件費（千円）B		5,808			5,808			3,714			
内訳	一般職員（人・千円）		0.88 人 5,808		0.88 人 5,808		0.56 人 3,696				
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		0.01 人 18				
成果指標	成果指標名			単位		25年度		26年度		27年度	
						目標		実績		（目標）	
	① 各種健診受診者数			人		9,200		8,624		9,500	
	②										
③											
説明		各検診毎に対象年齢が異なるので受診率を示すことはできない。3人に1人の割合で町が実施する何らかの検診を受診されており、健康管理のひとつとして利用されている。									

事業名	各種がん検診事業	シート作成課	健康保険課
-----	----------	--------	-------

一次評価者	健康保険課長	二次評価者	生活福祉部長
-------	--------	-------	--------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明		
	必要性	有効性	達成度	効率性	
	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	検診は疾病の早期発見・早期治療を行うために必要です。 町民に年1回検診を受診する機会を提供することは健康の維持増進には有効です。 検診の種別によって受診率は異なりますが、概ね受診されています。 検診結果の要指導の方には、個別指導により生活習慣を見直す機会となり効率性は高いです。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

本事務事業の実施適切性の説明

町民の方の受診勧奨とその増加に努め、生活習慣の見直しの意識向上が図られます。

評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	4	B	A

今後の方針	休・廃止	見直し	継続	拡大
			○	

今後の改革・改善目標
町民が受診しやすい環境づくりと健康意識が高まり、受診率の向上につながるよう啓発を推進します。

評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	4	B	A

今後の方針	休・廃止	見直し	継続	拡大
			○	

コメント
早期発見・早期治療を行うため、がん検診受診者数が増加するよう、さらに啓発に努められたい。

二次評価に対する課の考え方
がん検診を受けることで、町民の健康意識を向上を図り、町の健康度の向上につなげます。

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する
------------	------	----	------	--------------